

久万高原町
議会だより

第11号

2016年
12月



面河山岳博物館



主な内容

石鎚の山頂に住む昆虫 …………… 2	本会議 9月30日 …………… 15~16
平成28年第3回臨時会 9月16日 …… 3~5	総務文教厚生常任委員会 …… 17
行政報告／議員紹介 …………… 6	産業建設常任委員会 …………… 18
平成28年9月定例議会 …………… 7	本会議 10月6日 …………… 19
第4回定例会議案一覧 …………… 8	議員研修報告 …………… 20
一般質問 …………… 9~14	

石鎚山の山頂に住む昆虫

西日本最高峰の石鎚山、その高所にはシラベの森が広がっています。シラベはモミの仲間の針葉樹で、見た目はクリスマスツリーによく似ています。日本固有種で、本州中部山岳地帯と紀伊半島の大峰山、そして四国山地の高所、これら3地域の亜高山帯(標高1,700m〜2500m)にしか生えていません。石鎚のシラベ林は日本の南限分布にあたり、とても貴重な森といえます。この森の特殊性を象徴する希少な昆虫たちを紹介しましょう。

イシヅクチキウマは小指の先ほどあるでっぷりしたバツタ。完全な夜行性で、夜に山頂周辺のシラベ表面をライトで照らすと、たまにじつとしてゐるやつが発見できます。山頂より低地でも見つかっていますが、これまでの発見数が少ないため正確な分布は分かっていません。



イシヅチヒサゴミシダマシ(コウチュウ目ゴミシダマシ科)



イシヅクチキウマ(バツタ目カマドウマ科)

イシヅチヒサゴミシダマシは体長約1cmの甲虫で、これも夜行性。枯れたシラベの上で活動し、朽木や菌類な

どを食べていると考えられます。

タカネムネボソアリは四国ではシラベの生える石鎚山頂の岩場でしか見つからない極珍のアリです。体長約3mm!



タカネムネボソアリ(ハチ目アリ科)

シラベは元々北方出身の木で、日本が現在よりもっと寒かった約2万年前に南下し、中四国の山地にまでやってきたようです。現代に至るまでの温暖化により、山の高い部分にだけ取り残され、今は亜高山帯という限られた範囲でしか見ることができません。当然、そこで暮らすこれらの昆虫類もシラベと共に北方からやってきたと思われる。さて、ここで紹介した昆虫たちの標本は、すべて当館で

見ることができません。スマホやパソコンで簡単に画像検索ができる昨今ですが、やはり実物の情報量(＝説得力)には敵いません。山岳博物館に電話して、学芸員がいることを確かめて、面河溪まで車を走らせたなら、あなたの望みは叶います!その意味では自然史を扱った博物館がほとんどない県内において、久万高原町ほど恵まれた自治体はないと言っても過言ではありません。館の資料は町民皆さんの財産。ぜひどんどん使ってください!

(矢野真志)



矢野学芸員



岡山学芸員

平成28年第3回
久万高原町議会臨時会
平成28年9月16日

議長

本日は秋の刈入れ等御多忙の中、全議員の御参集いただきありがとうございます。

人事案件のほか町から7件の議案提出があります。慎重な審議をお願いいたします。

新人議員の議席指定と常任委員会の指名

天野辰晴 議席3番 産業建設常任委員
安川正明 議席9番 総務文教厚生常任委員

議員討論した主な議案の要約

議長の辞職許可について

規定により高橋議長の退場玉井副議長が職務交代

中野

9月5日急きよもたれた臨時全員協議会で、先の久万高原町長選挙で議長が支援した候補が落選したことが原因、と言われたが理由としてはおかしいと思う。

瀧野

本来議会でこのような案件があった場合、議長経験者や議会運営委員会と相談するのが通常であるがそれがなかった。議長は手を挙げて議長になり、本会議場において全てのことを統治するのが議長の権限である。選挙が終わった以上理事者、職員、議会、町民が一体となって町政に協力しあうべきである。多くの町民に推されて議員になり、議員の推薦によってそれぞれの常任委員会の委員長や議長、副議長になったのだと改めて責任を感じて欲しい、以上の理由から議長の辞職に関し反対する。

副議長

採決は起立で行う

副議長

起立無し、議長辞職許可は否決された。

ポランテアで除草作業中、飛散した小石が車両に損害を

中野

ポランテア住民による作業行為の保険適用の場合全国総合賠償保障保険は、どういう時に適用されるのか、後で資料提供を

瀧野

不注意から車の損傷事故など軽微な事故が大変多い、大きな事故につながる可能性が大である。全部総括すべき課長の答弁を求める。

A

今後の対策として、二人一組でネットを張るなどの対策をしてやっていく。ポランテアの方の作業にも原因を把握して対処する。

瀧野

損害賠償の補償は全部専決である、最近相当数の事故が起きているが拾い出して、今後の検討事項について職員に徹底したのか後で報告を

町立病院に総合診療科を設ける

中川

総合診療科とは

A 緊急の場合の対応から健康診断の結果まで相談出来る幅広く医療に携わる医師が行う業務である。専門医でもある。

中川

7月1日専決されているがなぜ専決か

A

5月10日頃県立中央病院の医師が退職する情報があり7月1日より久万高原町立病院で勤務することになった。条例改正完了していないと業務が出来ないので専決処分分で条例改正を行い診療科目(総合診療科)追加した。

中川

病院には運営委員会が設置されており何も通さず専決処分は大変問題である。

中野

前回の看護師の奨学金の件でも運営委員会を無視して、事務処理後報告しており、議会及び運営委員会を軽視している。新町長に基本的な考えを伺う。

町長

出来る限り議員、運営委員に相談をし、極力事業に理解を得られる様にする。

中野

今回のことは議会軽視である。今後は運営委員会を開いて承認されたものを議会に提出する手順を踏むべきである。

A

今後条例改正を伴うこと、病院の運営に関する特別

なことは、運営委員長、副委員長、理事者と相談させていただく。

「まちなか交流館」の設置及び管理に関する条例の制定

中川

交流館は9月6日落成したがこの建物の有効活用する為にもう少し慎重に時間をかけて考えるべきである。

A 議会に提出する前に検討委員会を立ち上げて意見を集約し、中身を継続して運営協議会をつくり協議した。

瀧野

条例をつくるにあたって専門委員会をもたれたか

A 検討委員会で本事業のコンセプト全般で協議し設置条例が必要と決定した。

瀧野

9月6日落成と決まっているなら、オープンして通常の経営をするのが普通では

A 即時オープンを目指していたが運営上の不備があり、まず工期内に出来上がった建物を町民の皆様に見学してもらい、今後は条例制定と予算

の成立後運営を進める。

瀧野

交流館の指定管理について出来るのか否か

A 検討委員会の中でも、指定管理という方向性は最初から出ている、当初は直営で行い指定管理を視野に入れた形で運営していく。

瀧野

激しい議論の中で生まれた「交流館」であり、町民が納得出来るような計画書なり条例をつくるべきである。

町長

商店街の賑わいを招致するために、又皆さんに元気を出していただく都市再生整備計画の中の事業と認識しており、町民の皆さんにこの整備計画の趣旨、充分に理解を得るようにはしていく。指定管理については推測の範ちゅうではあるが3年以内とする。

安川

管理運営委員会を作るなら、賛成した議員は責任をもつて、全部入ってやっていくことを提案する。

議長

この件は、後ほど機会を見つけて検討する。

西山

本議会でこの条例の承認に反対する。交流館は、移住定住の交流センター機能をもたすべきである。観光事業目的に縛られる。早急な条例を通すことに反対する。

玉井

交流館は、委員会も開き我々も賛成して今日に至ったので賛成討論とする

議長

異議があるので採決は起立によって行う。

採決

賛成 8名

瀧野 志 ・ 天野 辰晴
川崎 勝弘 ・ 田村 昭子
山之内 敏秋 ・ 日野 明勅
長山 淳志 ・ 玉井 春鬼

反対 5名

中野 克仁 ・ 中川 武志
西山 清一 ・ 上沖 教一
安川 正明

起立多数 原案の通り可決

一般会計補正予算商工総務費（交流館）関係予算

中野

業務委託料の明細は

A 事業推進チーフ、地域おこし協力隊、臨時職員の計3名で運用するが、その中の事業推進チーフの業務委託料である。

瀧野

交流館の業務委託料は、道の駅と同じとなるのか

A 事業推進チーフ及び臨時職員は公募により対応する。

瀧野

職員の再雇用制度は、小さな町では出来るだけしないで仕事の欲しい人にあげるべきだ、再雇用制度の代わりに業委託制度を設けたのか

A 条例上制定しているが、実際には運用していない。予算を認めて頂いてからの公募である。

中野

職員をあてずに業務委託にした理由は何か

A 現状の職員を充当する形

態では対応出来ないもので、新たに推進チームの形態とする。

中野 新たに雇用しなくても出来ると思うが

A 今回は公募による業務委託の方法をとった。

瀧野 不明確なことなら最初から指定管理にすべきだ。副町長はどうか

副町長 今後の方向については、新町長が運用されること、可能な限り説明をしてきた。不足の部分があつたゆえの事態と責任を感じており、お詫び申し上げます。

安川 常勤3名の委託業務の内容を明らかに。

A 展示室、交流室、体験工房、中庭の利用等の事業内容を細かく担当する。

瀧野 役場職員は十分に余裕がある。この様な場合は議会に事前に説明すべき、職員を業務委託で雇用するなら議会に相

談すべきである。

副町長 私達の不手際であり、職員を指導していたが、私の責任も多いと思う。不足のあったことをお詫びする。

瀧野 3人のスタッフで行うこと皆納得した。新しい手法で雇用することは必要ないが、一事不再議の原則から、引っくり返すことはできない。

A 雇用の理由は、専門性の高い即戦力で、広く公募し人材を確保する。

瀧野 専門的な職員、投資対効果のある職員を雇うことか。何で議会に黙って業務委託契約をしたのか

休憩

A 議案74号 一般会計補正予算は一度取り下げることにする。

公益財団法人久万高原農業公社の経営状況報告

日野 農業公社クラインガルテンの利用者が減り、11棟が空きとなつている。少しでも赤字を解消する為に満室へ

A 利用者の入れ替わりの時期、借りた方が引退され、新しい方が少ない。満杯になる様PR活動をしていく。

副議長辞職願の提出

議長 玉井春鬼副議長から「副議長辞職願」が提出された、追加議案としたい

瀧野 今オール久万ですべてのことに対応していく時である、全員一致で議会を運営すべきであり反対討論とする。

議長

採決は起立により行う。

議長 起立なし、否決された。

玉井

最後迄全うさせて頂いた。のでよろしくお願ひする。

議長

議会運営委員会・長山副委員長、総務文教厚生常任委員会・川崎委員長、産業建設常任委員会・日野委員長、議会改革特別委員会・玉井委員長、日野副委員長から辞職願が提出されている、各常任委員会及び特別委員会を開催し審査・選任し、結果を議長に報告ください。

休憩

議長 各委員会で審査した結果辞職願は許可されなかった。

行政報告



河野忠康町長

平成28年第4回久万高原町議会定例会を招集させていただきましたところ、議員全員のご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

まず、本議会におきまして平成27年度決算に基づく町の財政指標の報告をいたしますが、その概要をご説明申し上げます。

町の借入金の返済が、財政に及ぼす負担の割合を表した「実質公債費比率」は、平成26年度決算から1ポイント改善し、11.5%となりました。引き続き早期健全化基準の25%を下回っております。

また、町の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの、27年度末の残高の程度を表した「将来負担比率」につきましても、平成26年度決算から18.9ポイント改善し、8.3%となり、早期健全化基準の35.0%を大きく下回っております。

このことから、財政指標は、毎年確実に改善されてきており、町の財政は引き続き健全な状況を維持しております。次に、平成28年度の普通交付税について、ご報告いたします。

本年度、本町に交付される普通交付税は、47億2,855万7千円となり、昨年度と比較して3億6,872万6千円の減額となりました。減額の主な理由は、昨年度から5年間をかけて段階的に縮減される合併特例加算によるものや、昨年度の国勢調査の結果による人口減少の影響、また、地方債償還額の減少に伴う交付税措置額の減少などによるものです。

また、普通交付税の振替措置として発行が許可される「臨時財政対策債発行可能額」も、昨年度と比較して9,054万1千円の減額となり、2億2,359万円となりました。

(中略)
以上、いずれも、十分なご審議を賜わり、適切にご決定をいただきますようお願いを申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

議員紹介



安川 正明 議員

8月28日に行われた久万地区の補欠選挙で町議に当選した安川正明です。

上野尻北馬頭という笛ヶ滝公園を横に見下ろす地区に住んで5年になります。

長野県長野市松代町生まれ育ち、東京で妻と知り合い会社員をいたしました。その後、義母から松山市平和通の温泉、製材所の経営に参画しながらこの申し出があり松山に移りました。

普通ですとへんに引かれて善光寺参りですが私はへん年生まれの妻に魅かれて松山参りです。義母の死を機に、残りの人生を暮らそうとこの地に決め現在に至ります。

偶然知り合った人から、「お前も久万高原町民になるのだ

から読め」とへん久万町誌へ山村のくらし」と2冊の分厚い本を貸与されました。栄えていた河合宿、林業の発生と歴史、面河の森林鉄道、果てには、2階から出入りしている大雪の写真等大変勉強になり、久万高原町に興味を持ち町のあちらこちらへ出歩き、様々な方と知り合い、それが今回の結果となりました。

松代では、宇和島藩から松代藩に興入れした豊姫の持参した杏が盛んに栽培されています。久万に里帰りできないものかと考えた妻は、久万高原町の皆様に約150本、自家で35本植えています。3月末頃淡いピンク色の花を咲かせます。

「よそ者 若者 馬鹿者」が地方を変えるといわれていません。若者ではありませんが、新しい風になり、かけがえないこの地を守るため努力致します。

平成28年

9月定例議会

9月30日～10月6日

平成28年9月補正後予算額

総額	149億1897万円	(2億7374万円増)
一般会計	85億6530万円	(2億1345万円増)
特別会計	41億7435万円	(6029万円増)

平成28年6月の主な補正

歳入	分担金及び負担金	518万円	
	使用料及び手数料	39万円	
	国庫支出金	1261万円(減)	
	県支出金	1700万円	
	繰入金	248万円	
	繰越金(前年度繰越金増額)	1億8568万円	
	諸収入(自治総合センター助成金)	81万円	
	町債	1450万円	
歳出	総・文・厚	公用車の更新費用	350万円
		移住者住宅改修補助事業の補助金	315万円
		障害者自立支援給付費国庫負担金の清算返還金	679万円
		児童手当国庫負担金の精算返還金	368万円
		ラグビー場観客席の障害者用ロープ等整備工事費	280万円
		美川学校給食センター給食物資運搬車両更新費用	140万円
		認定農業者経営改善支援事業補助金	240万円
		水路や農道等修繕工事費	1830万円
		農業用施設の維持管理業務委託料	650万円
		林道の未登記測量委託料	1300万円
		まちなか交流館の運営経費	933万円
	産	町有観光施設の修繕費	185万円
	建	空き家実態調査業務委託料	800万円
		町道維持修繕工事費	2000万円
		がけ崩れ防止対策工事費	1900万円
	景観計画素案策定業務委託料	300万円	
	林道の崩土除去・路面整備等業務委託料	515万円	
	災害測量設計委託料	1080万円	

平成
28年

第4回 久万高原町議会定例会

議案一覧表

【会期9月30日～10月6日】

番 号	件 名	議決 結果	委員会 付託議案	採決日
議案 第75号	平成27年度久万高原町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定 について	—	決算特別 委員会	—
議案 第76号	平成27年度久万高原町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の 認定について	—	決算特別 委員会	—
議案 第77号	平成27年度久万高原町立病院事業会計決算の認定について	—	決算特別 委員会	—
議案 第78号	平成27年度久万高原町立老人保健施設事業会計決算の認定に ついて	—	決算特別 委員会	—
議案 第79号	平成28年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)	原案 可決	総・文・厚 産建	10月 6日
議案 第80号	平成28年度久万高原町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)	原案 可決	総・文・厚	10月 6日
議案 第81号	平成28年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)	原案 可決	総・文・厚	10月 6日
議案 第82号	平成28年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)	原案 可決	産建	10月 6日
議案 第83号	平成28年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	原案 可決	産建	10月 6日
議案 第84号	平成28年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)	原案 可決	産建	10月 6日
議案 第85号	愛媛県市町総合事務組合理約の変更について	原案 可決		9月 30日
議案 第86号	愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務機構からの脱退に伴う 財産処分について	原案 可決		9月 30日
議案 第87号	久万高原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意		9月 30日
議案 第88号	久万高原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意		9月 30日
議案 第89号	久万高原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意		9月 30日
議案 第90号	久万高原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意		9月 30日
議案 第91号	久万高原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意		9月 30日
議案 第92号	久万高原町教育委員会委員の任命について	同意		9月 30日
議案 第93号	久万高原町教育委員会委員の任命について	同意		9月 30日
議案 第94号	久万高原町副町長の選任について	同意		9月 30日

※ 総・文・厚 〈総務・文教・厚生常任委員会〉

※ 産建 (産業建設常任委員会)

一般質問



山之内敏秋議員

今後の産業廃棄物処理について

問 産業廃棄物の最終処分は、愛媛県では、主に民間企業が担っている。町長は、民間業者の営業を肯定され、評価もされてきたが、今後変わる事はないか

一般廃棄物は、松山市に焼却処分を委託契約しているが、将来はどのように処分する事が望ましいか

答 愛媛県内には、産業廃棄物の最終処分を行っている業者があり、県の指導のもと、法律に基づいて運営している。今後もこの考えを

変えることはない。

平成25年4月から、松山市に可燃ごみの処理の委託を行っている。人口減少に伴い、ごみの量も減少している。町単独での施設整備は考えにくい状況の中で、広域での処理に検討と調整を進めている。

また、リサイクルの推進、バイオマスの研究、ごみを出さない啓蒙、いわゆるゼロミックスン社会の実現を図る。

問 愛媛県内の一般廃棄物の最終処分場立設は23施設、残余年数は24年で終わりそうである。また最終処分場の無い自治体は久万高原を含め6市町である。

愛媛県所管の産業廃棄物最終処分場は、安定型25施設、管理型8施設、残余年数は20年程度と思われる。

以上のことから、今後10年以内に新しい処分場施設の検討が必要であると考えられる。

久万高原町は、最終処分を松山市などに頼っているが、

いつまでも続くか、施設の設置を求められるかもしれない。もし、産業廃棄物最終処分場の事件が発生した場合、短い期間で対応することは大変なこと、町長は、地元住民だけでなく、町民に情報を公開し、町民の意思を確かめ、尊重されるか

答 産業廃棄物の処分場の耐用年数はそれぞれ近づいている。かさ上げ等の申請もなされて十分な対応をされている。当分の間は心配ない。

あの地には、最終処分場を絶対につくらせないように、しっかりと監視の目をもって行きたいと思う。

将来は、久万高原町で排出される最終処分場で処理されるごみは、「この町の中でやらせません。久万高原町外の皆さんにお願いしたい」とは理念として申せません。

将来的には、住民の皆さんの合意のもとで、誰もが安心して運営がなされる施設は、検討しなければならないと思う。



面河川の清流

一般質問(2)



安川正明議員

産業廃棄物最終処分場の対策は

問 1kg当たり8000ベクレルまでの放射能汚染物質まで、埋め立て可能な最終処分場建設予定地に対して、町民、及び、仁淀川流域の44万人の水の安全を守らねばならない立場になった。10年後20年後を見据えてこの産廃問題にどう対処していくのか

答 将来は、町民の合意のもと、安全に管理される産業廃棄物最終処分場は、久万高原町の中につくることも、今後の推移を見守っていく中検討していく。

問 豊かな自然を守るため、環境保全条例を作る意思はあるか

答 かけがえのない環境を、お互いがしっかりと、財産として認識し、環境を汚すことはできない。その理念を皆さんに徹底を頂く条例を考えている。

早速に、職員及び議会とも相談しながら、条例制定に向けて進めて行きたい。

問 町長と久万高原町職員全体へのお願いは、下流域の影響のある近隣の自治体にも、連携を働きかける具体的な方法論を考えて、物事を進めていただきたい。



仁淀ブルー

一般質問 (3)



日野明勅議員

産業廃棄物最終処分場建設にかかわる発言について

問

河野新町長は、町長選挙に於いて「高野前町長体制は3年〜4年後には必ず産廃場は建設される、風評被害により久万高原町印の農産物が駄目になる」と各地で発言された。

その根拠と理由を問う

答

町長選挙にて、久万スキーランド、アクロス重信の負債の精算に産業廃棄物処分場設置に関連した業者が関係しており疑義は残る。

前町長は、産廃場の建設不可について明確な行動をとら

ず、町民に根強く不安や疑念があった。産廃場が建設されれば久万高原町の農作物は風評被害により、久万高原町の農林水産物は大きな打撃をうける。

問

① アクロス重信、久万スキーランド伝々は個人の問題である。金融機関と高野氏の両者で不良債権の物件として処理。その後金融機関と開発業者の双方で処理されており高野氏の関与は見られない。

② 産廃場の建設反対について久万高原町議会で2度採決され、県の関係機関へ意見書が送付されている。

③ 平成27年2月24日河野県議の紹介で、産廃場建設を止める会の会長以下役員と河野県議の4人が開発業者の実質的経営者常務と面談、席上「現段階で産廃場の建設は考えていない。将来はわからないが久万高原町民の同意を得てから考える」との言質を得りつけた旨、会長から聞いて

いるゆえに(仁淀川の清流を守る会に名称変更)開発業者の本意を十分に理解しておりながらあえて政争の具としたのは何故か

河野町長は、根拠のない不安を町民に抱かせたこと、どの様に対処されるのか

④ 2期8年観光立町をテーマに、町政に多くの実績をあげてこられた高野氏に対し、敬意を払うことなく誹謗をされたことは、人としての尊厳と品格を無視したものである。

瀧野議会運営委員長より休憩の緊急動議あり

休憩

全議員協議会に於いて検討し、質疑が個人攻撃に当たるとおそれがあるために、以下の質問を中止した。

再開

問

久万高原町議会会議規則の中であつてはならないこととして陳謝する今後産業廃棄物処分場建設が政争の具とならない様な環境保全の策定を問う

答

上位法のこととも勘案して、豊かな自然をしっかりと守ってゆける環境保全条例を考えてゆく。



ふるさと百景(畑野川)

一般質問(4)



田村昭子議員

移住・定住政策への取組は

問 NHK番組「縮小日本の衝撃」で国勢調査の結果を受けて全国的少子化の波が来ている状況の中での取組みを通して、問題点や課題を探っていた。本町においても、根本的な取組みが必要である。人工減少に少しでも歯止めをかける政策の一つが、移住、定住への取組であると思うが、町長はどのように取り組まれるか

答 町として、空き家バンク制度の推進、移住者の住宅改修費補助、定住促進住宅の分譲などを実施してい

る。政策を推進する上で地域と行政が移住問題について、共通の認識を持つことも大事になる。今後住まいの心配、仕事、子育ての支援など、希望や不安について、新しいセクシオンを設けワンフロアーで完結できる体制の構築にスピード感を持って対応していきたい。

問 本町において空き家、売り家、売り土地など、どの程度把握しているのか

答 国土交通省の補助事業で、空き家実態調査を、9月の予算で計上している。町でも空き家対策協議会を設置し、取り壊しの家屋、利用できる家屋など仕分けし、今後、定住の施策に反映させたい。

問 町長は農林業の振興・6次産業化等儲ける農業で、町の活性化を目指しているが、これはUターン・

Iターン、移住者にとり生活の基盤につながる。具体的な考えは

答 すでに移住している方々は、各々に仕事をもって来られる方もあるが、生活基盤は大事と考える、今後さまざまな職種について新しいセクシオンを作って、ワンフロアーの中で対応していく。



ニュータウン久万高原

定住促進 分譲宅地 **ニュータウン久万高原**

好評分譲中 全22区画 3-9号区画 2.8万円～

役場総務課財政管財班 0892-21-1111

久万高原 木と住まいの相談窓口 0892-21-1302

区画番号	面積	価格
1	1,200㎡	2,800,000円
2	1,200㎡	2,800,000円
3	1,200㎡	2,800,000円
4	1,200㎡	2,800,000円
5	1,200㎡	2,800,000円
6	1,200㎡	2,800,000円
7	1,200㎡	2,800,000円
8	1,200㎡	2,800,000円
9	1,200㎡	2,800,000円
10	1,200㎡	2,800,000円
11	1,200㎡	2,800,000円
12	1,200㎡	2,800,000円
13	1,200㎡	2,800,000円
14	1,200㎡	2,800,000円
15	1,200㎡	2,800,000円
16	1,200㎡	2,800,000円
17	1,200㎡	2,800,000円
18	1,200㎡	2,800,000円
19	1,200㎡	2,800,000円
20	1,200㎡	2,800,000円
21	1,200㎡	2,800,000円
22	1,200㎡	2,800,000円

一般質問(5)



西山清一議員

基幹産業の農林業の取組みについて

問 町の基幹産業、農林業の振興について、具体的な施策があれば伺いたい

答 林業においては、CLT直交集成板や、木質バイオマスを検討して、新たな木材需要創出を考えたい。久万材ブランドを一層進めて、他産地との差別化を図り、トップセールスに参画し、久万材の優秀さを全国に発信していきたい。

農業については、高冷地の特性を生かして、久万高原清流米や、トマト、ピーマン等

を柱として、出荷を行っている、生産者の高齢化や後継者、担い手不足の問題が深刻化している。

担い手不足の対応として、農業公社において、担い手育成を行っており、今後この制度を広く周知し、地域の担い手を確保していきたい。また6次産業化への検討も重要となっている。

もうかる農業を念頭に農林業の振興に努めていく。

問 ●CLTについては、今後充分に研究すべきではないか

●木質バイオマスについては、積極的に取り組むべきではないか

●農産物のトップセールスを活発にすべきではないか

●農業公社卒業生が20名を超えてトマト栽培をしている。農業公社へ精いっぱい支援を行うべきではないか

●町には素晴らしい職員が在籍している。視察研修を積ん

で農林業の振興に尽力すべきではないか伺いたい

答 部局横断体制を取りながら、基幹産業の振興を進めたい。

問 今以上に、生産者ももうかる農林業を目指すべきである。国家戦略特区の中で色々な事業を研究すべきではないか。



一般質問(6)



瀧野 志 議員

持続できる久万高原町の
まちづくりについて

問

平成16年8月1日に、3村1町が合併して早13年が経った。合併特例期間中は、56億円の交付税が約束されていたが、今年は47億円と交付金も減ってきた。人口も当時1万1800人いたが昨年の国勢調査で8,400と発表されている。15歳以下が790人、15歳から30歳までが809人と将来町を支える若者が大変少ない。

上浮穴高校の問題も含め、早急に、若者がこの町で住める町づくりを協力して推進しないと、町の将来はない。この問題については、理事者・議会だけでもいかず、職員さ

人も町民の皆さんも含んで、オール久万で取り組むべきだ。新町長は、具体的にどのように取り組むのか、予算を考えたの答弁をいただきたい。

答

事業執行するに当たっては、予算をしっかりと、その前段で考えながらしなければならぬ。

上浮穴高校のことについては、何よりも大事なことは、十分な高校教育の任を果たして、誇りを持って卒業できる上浮穴高校を目指し、魅力ある、特色ある、ぜひ入ってみたい学校の構築を目指していきたい。

問

農業、林業のいろんな思いが町長にもあるようだが、もうかる農業とか攻めの農業とか、具体的に町政は明確で、町民にわかるような数字をだして、推進していくべきだと思う。上浮穴高校に対しては、入学補助金、通学補助、お金の補助を主体にやっている。喫緊の課題は、私は子どもを生み育てる世代を、いかに早く、ここで住んでもらうか、仕事をどうやってつくるか、そのところが一番の問題だ。「まち・ひと・

しごと創生戦略」理事者と議会そして町民が一体となって、取り組まなければ、本物の事業にはならないと思う。職員さんと議会とがチームをつくり取り組むべきだと思う、町長はどのように考えているか答弁をいただきたい。

答

20歳から40未満の子供を産んでいただけの層も半減する、若者の住める町づくりを早急に進める。ICTも含めながら議会と、そして役場の皆さんと、意見交換をもちたい。

問

役場の内部で、若い人を登用すべきだと思う。若い人が将来を見据えて、どうやっていくか、どう考えていくか、そういった土壌が役場の中に、今まで余りなかったのではないか。若い人で作るプロジェクトチームをつくるか、つくりたくないか

答

どういう形にするのが一番いいのか、これから役場の皆さんと議論をして、進めたい。

問

実働人口、15歳から64までが4,054人、65

歳以上の高齢者が4,127人のうち、介護保険にお世話になっている方が1,226人いる。大変高齢化の町である。今はその高齢者まで減っている。介護従事者の問題、また道の駅決算、3年経つと指定管理にする。まちなか交流館、造った物は、理事者と議会がしっかりと検討して対処すべき。消防庁舎にしても、本当にこれだけのものが必要であったか。若者定住促進住宅の分譲、できるだけ早く全部売れるように努力すべき。中断している給食センター、検討して早急に造らなければならぬ。都市計画区域の整備事業、もう一回考えて取り組むべきだと思う。合併以後、旧久万における事業は多いが、3村については事業が少ないと指摘されている。総体的にお答えを

答

若い職員とつくる(プロジェクトチーム)その形については、私のほうにお任せいただきたい。さまざま提案、大事な課題である。私自身が理解、そして現状把握、あるいは精査のところまではいってない。しっかりと精査しながら、対応していく。

……………
平成28年9月30日 提案
された議案、報告の審議
の中で(質疑の要約)
 ……………

一般会計補正予算

地方創生交付金減額はなぜ

中野 歳入で地方創生交付金1,900万減額となっているが、詳細な説明を

A 多くが継続事業等であつた上、査定が厳しかった。

中野 地方創生、新しい提案で取り組むべきでは

A 情報を把握して、適切な判断で申請していきたい。

まちなか交流館の臨時雇用は

中川 まちなか交流館の臨時雇用は、内定しているのではないか

A 内定はない。公募によつてお示しする。

指定管理の経費の持ち方は

瀧野 ふるさと旅行村ケビンの浄化槽などの、修理費の指定管理者との経費の持ち方は

A 町の設備投資なので全額町の負担でおこなう。

瀧野 指定管理者によつて経費の持ち方が違うのか

A 何年か前から規約、運営の方針、まちの要項基準を決めて進めている。

瀧野 指定管理の問題は、一定していないこと、大きな金額、小さな金額で修理代の折半方法など、指定管理への移行期限なども、また道の駅の決算書も出ていない

A 26年度は全て出している。27年度は今議会で示す。

未登記道路の実態は

瀧野 未登記道路の登記費用の試算は

A 町内全体の、町道、農道、林道の未登記は、4000筆

ほど金額は後で報告する。

入札の問題点

瀧野 入札での辞退や低入札の問題点は

A 指名入札は、1社の場合には、入札会は実施しない

低入札は、役場内に委員会を設け判断する、失格基準があり対応している。

空き家の実態調査は

安川 空き家実態調査業務は自治会に委託しては

A 国より50%の補助がある。専門的な知識が必要であり業務委託により行う。

安川 空き家バンクに利用するのか。町の職員の判断は差しはさまないのか

A 地域の自治会長、役場の職員など必要な場合、コンサルから連絡を取り協力を。

瀧野 補助事業だから行うのか、後から色々と生かすための調査なのか

町長 しっかりとデータを集

め、自治会長単位など基準を設けて、役場内で相談し、コンサルとやり方を検討する。
瀧野 コンサル頼り、補助金頼りの事業は、大体うまくいっていないのでは
町長 新しいセクションを設けて検討する。



空き家バンク登録の家

移住フェアに出展

中野 県外移住フェアに出展料8万円、フェア参加費20万の28万円使うが、町内の体制も整っていないのに、参加に見合う効果はあるのか

A 2回のフェア参加を考えている、場所は東京都内で、愛媛県主催、外郭団体主催の2回、初めてブースを設ける。

縦割りをなくして、総務課、森林林業課、農政課、一緒になって対応する、新たに久万高原町に移住した方も参加して意見を述べる。

効果は数字とニーズをつかんで、次に生かしたい。

下水道の現状は

瀧野 下水道事業債の起債は**A** 下水道事業は、特別会計が起債を起す分は下水道事業債を、一般会計からの繰り出し分は過疎債を活用している。

瀧野 これから修繕費が結構要るのでは

A 上下水道合わせて72億円の起債残がある。下水道全般で投資額に見合う収入はない、施設の延命と経費削減を図っていく。



し尿処理施設

人事案件同意

久万高原町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

- 大原 明義
- 名智 清澄
- 木下 正行
- 田野 典孝
- 古川 久直

久万高原町教育委員会委員の任命の同意

- 小野 敏信
- 中川 優

久万高原町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙(指名推薦による)

- 選挙管理委員会委員
- 石丸 勝義
 - 光田 友義
 - 土居 勝竹
 - 山本 真人

選挙管理委員会の補充員

- 山内 末男
- 坂本 強
- 大野 次夫
- 松本 勝利

愛媛県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙(指名推薦)

- 河野 忠康 町長

久万高原町副町長の選任の同意

- 高山 稔明

総務文教厚生常任委員会

議案第79号「平成28年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)」

総額は、85億6530万円、8.6%の減

歳入

国庫支出金

地方創生交付金1900万円の減額などで1261万円の減

県支出金

がけくずれ防災対策事業費補助金1140万円など、1700万円の増額

繰越金

前年度繰越金の計上で1億8568万円の増額

町債

臨時財政対策債を1450万円の増額

長山

介護ロボットには

国の補助金を受け町内のグループホームが移動困難者に水洗トイレを購入するもの。

瀧野

農業認定者についてどう考えているか

農業の屋台骨、できる限

りの支援をしたい。

長山 高冷地を生かした、品目の実現に向けて努力を

特性を生かした、研究をしたい。

歳出

総務課

(一)基本は総合計画。資料が多すぎる、流れを早く町民に
(二)指定管理、経費の検討や契約の見直しも

(一)読んで理解できるように、縮小版とか総務課と協議する。
(二)その都度見直し検討する。



中川 定住促進の為、窓口担当対応を

ワンストップ化、組織体制の見直しなど、理事者と相談したい。

美術館

瀧野 3館は、文化施設、最大限の利用とPRを

館通しの連携が低かった。年間共通パス券の発行、3館共通で利用者増、文化事業の取り組みをし客の増をほ

安川 まちなか交流館を利用してPRを

松山を中心にパンフレット配布している。出前講座も実施したい。

住民課

瀧野 税金についていろいろ聞く、平等に扱いを

納税については年2回の、滞納整理、訪問納入の願も。滞納整理機構への移管枠も広げ取り組んでいる。

保健福祉課

瀧野 高齢者が減ってきている、社協の適正な人数は

各種の福祉サービスをしている。介護の方など含め検討していく。

消防署

瀧野 970万円の補正はどのくらいのものか

本庁舎の下は岩が出た、周辺も2、3月まで岩が出、量が決定しなかった。

瀧野 完成した後に補正した。補正に対する考え方は

一部設計変更。出た時点で不足額を把握。今後、現場を管理し、その都度把握していきたい。

教育委員会

瀧野 給食センター新町長のもと、早期に取組みを。教育施設LEDに代えては

早急に検討再開する。LEDか検討。給食センター、来年初予算でとのことであるが、その後検討は。新町長のもと、早期に取組みを。教育施設LEDに代えては

給食センター問題は、早急に検討再開する。LED化については検討する

中川 面河少年自然の家閉鎖する、現場とのコミュニケーションが疎遠。修繕もしてきた町としての考え方は

自然の家の方との関係、配慮不足。自然の家としては廃止、今後の利用は教育委員会から総務管財か観光になる。

産業建設常任委員会

議案第79号「平成28年度一般会計補正予算(第3号)」

歳出

企画観光課

西山

- (一) まちなか交流館いつオープンか
- (二) 業務チーフ公募どうするの
- (三) 運営協議会は新たに決定か



まちなか交流館

- (一) 11月中旬を目途にしている。
- (二) 自治会文書・ネット配信・各施設に掲示する。
- (三) 観光・福祉・子育て中など幅

広く選定する。

中野 まちなか交流館、今後の運営について新しい観光行政として町長の方針は

A この施設を有効利用し地域おこしの拠点として活用。早くオープンし、有意義に活用したい。

西山 少年自然の家廃止、利用方法は考えているか

A 整理統合の一環で、将来の扱いは財政負担の伴わない方法で、NPO法人とか自分で運営を。

中野 粗大ごみの回収方法、広報などしたが、その後問題ないか

A 65歳以上の方、自動車を持たない運べない方。2年間広報し、定着してきた。

農政課

中野

(一) 経営改善、農業公園で定着し、土地問題で辞められる人もいる。農地の確保・農業公社の仕事、改革はされているか

(二) 農林業を進め、移住定住を目指すのであれば、農地は町で確保しては

A (一) 地域の中核として適正な指導している。

(二) 町として農地を持つのは不可能。公社としては持てる。

西山 町とJAとのコラボした、リース事業など検討は

A JAの事業承知はしていない。JAとの協議もしたい。

森林林業課



久万広域森林組合

中野 森林林業の推進に森林組合が大切であると思うが、関わりはどう考えているか

A 林業の中心になるのは、森林組合。組合員4200人いる。しっかりと関わっていく。

建設課

玉井

画は

A 29年度に道路整備交付金、単年度では難しいので2〜3年で

天野 町道・農道の暗渠が詰まることがある。人間が入るようにするか暗渠を開渠に作り変えることは出来ないか

A 地域の人に点検をお願いしている。木の枝などが詰まり簡単でない場合は役場に連絡を。現場を確認し改良工事で

中野

(一) 景観策定は、スポット中心に指定するのか

(二) 町営住宅、家賃を下げて呼び込むように、移住促進にも繋がるか

A

(一) 全町で指定、部分的に指定もいろんな方に参加していただきたい計画にしたい。(二) 公営住宅法で決められており減らせない。地域性のこともあり難しい。辺地度など考慮して検討する。

平成28年第4回久万高原町議会定例会 平成28年10月6日(質疑の要約)

産業建設常任委員長報告
空き家実態調査について

安川 空き家実態調査は、自治会に委託したほうが、正確で十分な調査ができるのではないか

A 現地調査は、国土交通省で発行されている、外観目視による住宅の不良判断手引きにより、不良判定を調査することによって、判定員による偏りやばらつきがないようまとめられている。

農業公社の役割とは

瀧野 農業公園の卒業生が、農地を借りて営農している、5年か10年で借地を返す様求められ、辞められた件、その後よくなる様に検討されているか

A 現在も農業公社、地元、研修生で交渉して、賃貸を結んでいる。

瀧野 町も多額の研修費を出し、多くの費用をかけて施設を作り、早く土地を返すような事、今はないのか

A 私が担当になり1件あった

瀧野 公社は、農地を保全し、維持する人を育成する所だ、卒業後借地して早く土地を返してくれと言われたら、返さなければならぬのか

A 賃貸契約内容の対応しかできない。

町長 今までの指摘については、今後内部で検討したい。

長山 研修生が、もともとつとやる気の出るような研修を

町長 ミスマッチで今後の課題となる。公社の人員を増やす必要があるかもしれない。

長山 久万高原で農業をするのに土地契約が5年ではあまりに寂しい

A 農地法の下限面積をクリ

アすれば土地の購入はできる。

町長 就農参画されている方も、さまざまな希望があると思う、ケースバイケースで対応する。

安川 トマト農家になってJAにトマトを納めなくてはいいけない。自分で加工して6次産業はできないか

A 系統出荷、全量農協出荷となつている。規格外品については、各自で処理出来る。

道の駅の決算について

瀧野 道の駅の決算、誰にでもわかる決算方法は

A システム上、目、の設定が可能なので、次年予算の編成に提案する。27年度決算で、一般会計からの流れが十分見えない部分があるので、項目を新たに設け、資料修正をし、次の決算委員会、特別委員会に提案する。

ICT教育へ

瀧野 子供の教育について、3年後には、小学校でもプロ

グラミングする時代が来ているが、研究しているか

教育長 パソコンを授業で1人1台確保して、教育を進めてきた。昨年度から明神小学校でタブレットを使った授業を進めている。この2学期以降、明神小学校1人1人にタブレットを渡し授業、家庭学習で活用する取組みがある。

地方創生について

瀧野 将来的に、若い青年が、生活ができるような仕事を作る必要がある。検討を

A 地方創生プラン、情報化の社会をキーワードに思い、意識しながらやっていくよう努めていく。

婚活を進めよう

長山 婚活を町が主体となり進めるように

A 今年から5年間、3市3町でそれぞれの所で、年一回ずつ行う計画である

第57回四国地区町村議会 議長会研修会(報告)

平成28年10月13日高松レクザムホールにて開催され議員が参加した。

1 名城大学都市情報学部教授 昇秀樹 先生による講演

- ① 大統領制下の議会のあり方
- ② 「人工減少と地方議会のあり方」右肩下がりの時代」と議会』をどう生きるか等

2 東京大学教養学部客員教授 松本 真由美 先生による講演「もう一度考える地球温暖化とエネルギー問題」

- ・ 地球温暖化とパリ協定
 - ・ 温暖化対策とエネルギー政策を考える
 - ・ 低炭素なまちづくり
- 今日、取り組まなければならない視点の講演であった。

平成28年度町村議会 広報研修会(報告)

平成28年10月26日シエーンバツハ・サポー東京で開催され、広報委員が参加した。

1 分かりやすく、伝わる広報誌の表記

- 講師構文社代表赤羽博之氏による講演
- 伝わる文章を書くマナー
- ① 短く書く ② 重複を省く

③ 具体的に書く を受講した

2 ドラッカーに学ぶ10のキーワード「月刊総務」編集長 豊田健一氏による講演

- ① つながり感 なぜ読まれないのか
- ② 読後感 広報誌で何がしたいのか、読後感を設計し、読後感に合った料理の仕方
- ③ ターゲット 誰に読んで欲しいか
- ④ インフルエンザ影響力を及ぼす人だけを対象にしても
- ⑤ ストーリー・テリングで共感と行動へ、ドラマを引き出す取材力の向上が必須
- ⑥ 当事者意識を持ち、行動してもらうには
- ⑦ 親切な誌面 メリハリをつけ読んでもらえる誌面へ
- ⑧ 写真を有効に使用する
- ⑨ メディア・ミックス
- ⑩ 共働広報 読者の参加・登場・発言などを目指すべき

3 優秀受賞誌から学ぶ企画編集

- ① 岩手県金ケ崎町「議会だより かねがさき」
 - ② 山形県川西町「かわにし議会だより」が紹介された。
- 今後先進地の企画、編集を参考に、してよりわかりやすい議会広報に取り組む。

小川町議会会報特別委員会を訪問する(先進地研修)

平成28年10月27日 埼玉県小川町役場特別委員会を訪ねる。議長はじめ、委員、事務局など9名と、我町8名が会談し情報交換し研修する。

小川町は平成8年11月より発行し、最優秀賞を受賞されたこともある先進地である。人口3万1千人、発行部数(1回)1万2千部、年4回発行、質疑の主なもの

- 1 住民に読まれ親しまれ、議会活動が伝わる誌面の工夫
- 2 ユニーク(独創的)な編集における委員の役割
- 3 委員の誌面分担の仕方
- 4 発行における、議会事務の関与

これらについて両町議会の発行状況や議会全般の運営状況を研修した。



編集後記

10月は、地方議会のあり方、議会と議会の関係、などの研修に参加しました。住民に親しまれて読まれる会報を目指して、日々研鑽して参ります。

(委員長)

毎年度
3月 6月
9月 12月

久万高原町議会定例議会が開かれます。多くの方の傍聴お願い致します。詳しくは議会事務局へお問合せ下さい。